



令和7年4月10日
都市局公園緑地部
動物公園
電話 252-7566

千葉市動物公園が開園40周年を迎えます！ ～40周年記念のイベントや記念切手の販売を行います～

千葉市動物公園は、昭和60年に開園し、令和7年4月28日（月）に開園40周年の節目の日を迎えますので、お知らせします。

また、4月28日に記念イベントを開催するとともに、令和7年度の1年間を「40周年Year」として、さまざまな取り組みで盛り上げますので、併せてお知らせします。

1 千葉市動物公園の歴史

昭和60年 千葉市動物公園 一次開園

動物科学館、モンキーゾーン、子ども動物園、家畜の原種ゾーンがオープン（飼育動物103種507点）

昭和63年 千葉市動物公園 二次開園

草原ゾーン、鳥類・水系ゾーンが完成（飼育動物185種812点）

平成3年 遊園地「ドリームワールド」オープン ※平成26年閉園

17年 レッサーパンダ「風太」ブーム始まる

24年 来園者数2千万人達成

26年 「千葉市動物公園リスタート構想」発表

28年 ライオンの展示開始

31年 公募により民間企業出身者初の園長が就任

令和2年 チーター・ブチハイエナの展示開始

3年 「平原ゾーン」がフルオープン

チーターの子どもが6頭誕生

※この年、平成22年度以降最多入園者数、平成4年度以降最多収入を記録

6年 博物館法に基づく「登録博物館」に登録

7年 動物科学館のリニューアルオープン

千葉市動物公園 開園40周年



動物公園正門

2 40周年記念ロゴマーク・キャッチコピー

(1) 40周年記念ロゴマーク

開園40周年を盛り上げるために、記念ロゴを制作しました。

動物公園らしさが一目見て感じられるよう、正門上部に設置しているモニュメントをあしらったデザインとしました。

(2) キャッチコピー

「命をつなぐ、未来を拓く、新たな歩み」

これまでの40年間、動物たちの命をつないできた動物公園が、次の未来へ歩んでいくという想いを込めて作成しました。



40周年記念ロゴマーク

2 記念イベント等

(1) 40周年記念セレモニー

ア 日時

令和7年4月28日（月）10：00～11：00

イ 場所

中央広場ステージ

ウ 内容

市長挨拶、絵画贈呈式、切手贈呈式 等

3 「40周年 Year」の取り組み

(1) 40周年記念デザイン年間パスポートの販売

開園40周年を記念し、特製デザインの年間パスポートの販売を開始します。

ア 販売価格

3,000円

イ 販売開始日

令和7年4月28日（月）※なくなり次第終了

(2) 開園40周年記念オリジナルフレーム切手の販売

ア 販売開始日

令和7年4月28日（月）

イ 販売場所

- ・千葉市、市原市の郵便局（計133局）
- ・5月5日（月）0：15から日本郵便株式会社Webサイト「郵便局のネットショップ」でも取り扱いを開始します。

【URL】<http://www.shop.post.japanpost.jp/>

- ・4月28日（月）は園内にて郵便局臨時出張所を開設しオリジナルフレーム切手の販売を行います。

ウ シート構成

1シート 110円切手×10枚

エ 販売価格

1シート 1,650円（税込）

(3) 40周年記念クリアファイルの配布

ア 配布開始日

令和7年4月28日（月）から

※先着順 なくなり次第終了

イ 配布場所

中央広場

ウ 配布枚数

10,000枚



40周年記念デザイン年間パスポート



フレーム切手



クリアファイル

(4) 飲食・物販

メニュー	販売場所	販売日等
福袋（ぬいぐるみや雑貨など）	森のおみせやさん	4/28から 限定40個
40周年オリジナル缶バッヂ	森のおみせやさん	4/28から なくなり次第終了
お楽しみパン詰め合わせ	はぴはぴのパン屋さん	4/28~5/3
40周年ロゴ刻印マルチスタンド	展望デッキ売店／正門 売店／北口売店	4/28から
40周年記念パンケーキ	森のレストラン	4/28から

(5) 40周年記念講演会

日時	内容
4月29日（火・祝） 13:00から	「動物公園の40年を振り返る（仮）」 (登壇者) 前園長 石田 勇 様 「千葉市動物公園リスタート構想」の立案者である石田氏が、動物公園の40周年を振り返ります。
5月3日（土・祝） 13:00から	「理想の動物園を求めて（仮）」 (登壇者) 初代園長 宗近 功 様 千葉市の要請を受け初代園長に就任した宗近氏が、理想の動物園について語ります。
5月6日（火・祝） 13:00から	「動物公園の地下に眠る歴史－餅ヶ崎遺跡－」 (登壇者) 千葉市埋蔵文化財調査センター 前所長 西野 雅人 様 餅ヶ崎遺跡のある台地の上に動物公園は建設されました。 その遺跡からの出土品について語ります。
6月22日（日） 13:00から	「熱帯雨林の日」に合わせた講演会 (登壇者) 総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一 様 石川県立大学 准教授 北村 俊平 様 ※その他登壇者調整中 野生ゴリラの社会生態学の第一人者で京都大学の前総長である山極氏を筆頭に、熱帯雨林についての講演を行います。

※定員150人、先着順

※場所はいずれも、動物科学館1階レクチャールーム

＜参考＞

1 動物科学館のリニューアルオープン

(1) オープン日

令和7年3月29日

(2) 展示コンセプト

○展示タイトル

「生命の森 热帯雨林」

○メッセージテーマ

- ・驚きに満ちた世界、熱帯雨林へ
- ・動物園で熱帯雨林を知り、学ぶ

○展示の目的・理念について

多くの絶滅危惧動物が生息する熱帯雨林の環境の過去と現状を知り、地球環境など熱帯雨林の抱えるさまざまな問題を考え行動するきっかけとなる学習展示施設としました。

2 博物館法に基づく「登録博物館」への登録

千葉市動物公園は市教育委員会による書面審査、実地調査等を経て博物館法で規定されている「登録博物館」に登録されました。

市の施設としては加曽利貝塚博物館、郷土博物館に続き3例目となり、動物園施設としては全国で3例目、関東東北エリアでは初の登録です。

(1) 登録年月日

令和6年11月29日

(2) 登録を受けた目的

動物園は社会教育施設としての役割もあると言われているものの、一般的なイメージとしては集客観光施設としての印象が強く、その認知性の浸透に課題を抱えています。このため、本市動物公園では、博物館としての機能を充実させるとともに、社会教育的な学術・研究などの機能についての認知度向上を目指し博物館登録を申請しました。

(3) 博物館登録審査において評価された点

- ・動物の生態や行動などの特徴をわかりやすく見せる「特徴展示」など、来場者が動物本来の姿に触れることができる展示の工夫
- ・「未来へ紡ぐゴリラプロジェクト」をはじめ、動物福祉や種の保存、絶滅危惧種の保護など動物園が果たすべき社会的役割を踏まえた運営
- ・「アカデミア・アニマリウム」活動の推進により、さまざまな学校、研究・学術団体、企業との連携を含めた包括的な調査研究、教育普及活動への取り組み